

部局名	消防本部	所属名	消防総務課	所属長名	染谷 正博	電 話	459-7802
-----	------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3366		事務事業名称	消防団運営管理事業					短縮コード	経常	3366	臨時	3548
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		消防組織法及び消防法（消防団活動費），八千代市消防団条例						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
消防団活動に係る事務 ・消防団発足時から。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして					
近年、火災や災害が複雑化し救急件数も増加傾向にあります。今後、市民ニーズに対応していくために、消防体制の強化を図りたい。						大項目（節）	01	市民の安全					
						中 項 目	02	消防					
						小項目（施策）	02	消防体制の充実					
						細 項 目	05	消防団の活性化					
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市消防団							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： ・消防団員の研修・教育訓練の実施							
	※平成21年度に計画していること： ・消防団員の研修・教育訓練の実施							
意図 （何を狙っているのか）	①消防団の活性化及び組織力の充実強化 ②専門知識及び技術取得による個人能力の向上							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年度	2 0 年度		2 1 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	消防団員数	人	300	309	296	309	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	千葉県消防学校等の研修・教育訓練の実施日数	日	3	3	3	3	
	指標 2	知識・技術向上に係る教育訓練を実施した日数	日	33	33	33	33	
	指標 3							
成果指標	指標 1	千葉県消防学校等の研修・教育訓練の参加人数	人	1	1	1	1	
	指標 2	知識・技術向上に係る教育訓練に参加した団員数	人	1,218	1,080	995	1,080	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3366	事務事業名称	消防団運営管理事業			所属名	消防総務課
			単位	１９年度	２０年度		２１年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円		427	0	129	
		地方債	千円					
		一般財源	千円	22, 439	25, 530	24, 495	23, 080	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			費用弁償 （訓練等） 2, 436 消防学校入校負担金 3	費用弁償 （訓練等） 2, 000 消防学校入校負担金 3	費用弁償 （訓練等） 2, 640 消防学校入校負担金 3	費用弁償 （訓練等） 2, 000 消防学校入校負担金 4	
人件費 (B)			千円	11, 733. 6	11, 940. 7	19, 253	11, 518. 7	
トータルコスト (A) + (B)			千円	34, 172. 6	37, 897. 7	43, 748	34, 727. 7	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	上位の施策「消防体制の充実」を図るために、消防団運営管理事業を実施している。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	災害を担う消防団には訓練・研修は不可欠である。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	消防法において「消防は市の責務」とされている。				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	災害を担う消防団には訓練・研修は不可欠である。				
			☐ 見直す必要がある					
☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある					
			☒ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☐ 可能性がない					
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	再任用職員を採用し、業務の一部を対応してもらうことによって経費削減が可能となる。				
			☒ 臨時的任用職員等の活用					
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
				2		実施主体 （所管部署）		
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある	継続的な再任用職員の確保。				
			☐ ない					

コード	3366	事務事業名称	消防団運営管理事業				所属名	消防総務課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			再任用職員を採用し、業務の一部を対応してもらうことで業務の効率化を図る。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止（事業完了含む）								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			消防団には、訓練・研修は不可欠です。 再任用職員を採用し、業務の一部を対応してもらうことで成果は向上しコストは継続実施のため不変である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
消防団は消防職員同様、訓練・研修が不可欠である。									

所属長コメント	地域の消防防災の中核である消防団は、社会経済情勢の変化を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等対応すべき課題を抱えている。 消防団は、消火活動をはじめ、多数の要因を必要とする災害活動、また、大規模災害での救出活動や搜索活動、避難誘導などの面でも重要な役割を果たしており、「身近な暮らしの安全確保」を図っていく上で、大量動員が可能な消防団は非常に大きな消防力として欠かせない組織であり、一層の充実強化が求められている。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，引き続き消防団の充実・強化のため必要な再任用職員の継続的確保を図るべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止（事業完了含む）									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									